

令和7年度 学校評価アンケート分析 <児童（4年生以上）・保護者アンケートの比較>

学校評価アンケートへのご協力をありがとうございました。51%の保護者の方から回答を得ました。また、児童はタブレット端末で回答をしました。いただいたご意見を今後の教育活動の参考にしていきます。

【学校への安心感】

児童1「わたしは学校に行くのが楽しいです」

保護者1「子どもは伸び伸びと安心して生活を送っている」

【学級への安心感】

児2「わたしはクラスのみんなとなかよく学習や集団生活をしている」

保2「学校は、思いやりを育み、いじめのない学級づくりに努めている」

【教員の対応】

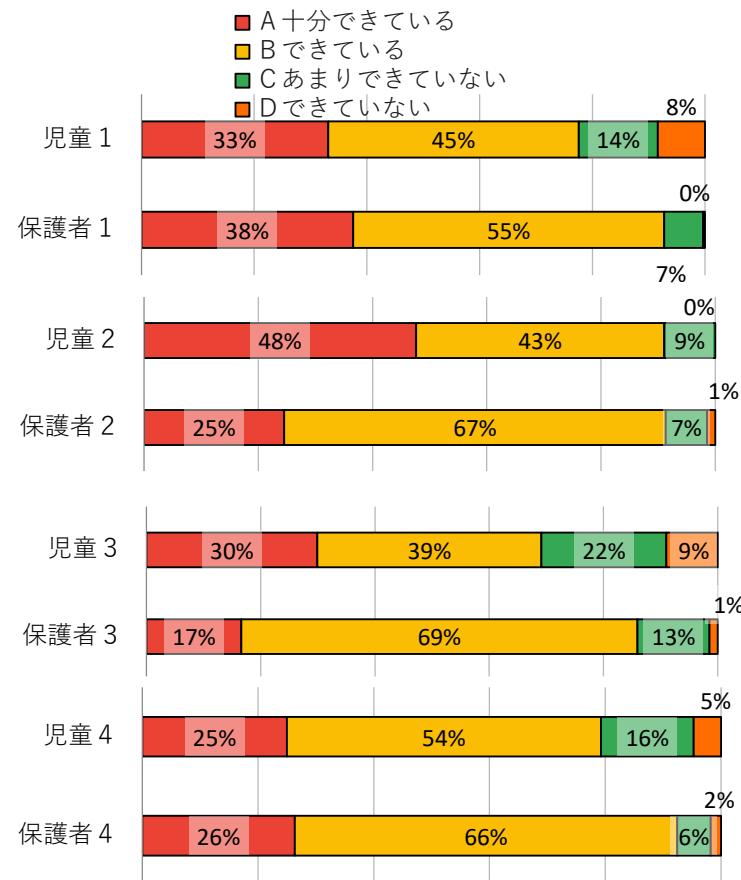
児3「わたしは困ったことがあると先生に相談する」

保3「学校は、子どもからのサインを見逃さずに対応している」

【分かりやすい授業への取組】

児4「わたしは授業が分かりやすく、楽しい」

保4「学校は子どもたちに分かりやすい授業をするように心がけている」

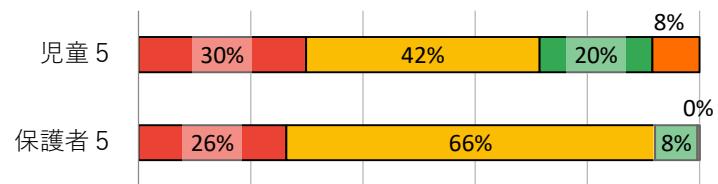


※「学校に行くのがあまり楽しくない・楽しくない」という回答は昨年度より5ポイント減少しました。しかし、すべての児童にとって困ったことが相談しやすく、授業が分かりやすい授業を目指し、子どもたちにとって通いたい学校になるように今後も全職員で指導に当たっていきます。

【言語活動への取組】

児5「わたしは学級で発言やスピーチをしたり、友達の話を聞いたりすることが楽しい」

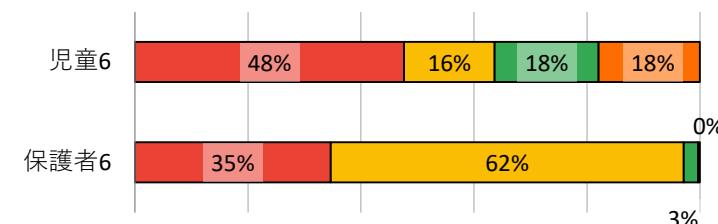
保5「学校は、子どもたちが話す・聞く場を設定するよう心がけている」



【体力づくりへの取組】

児6「わたしは、休み時間に運動場で遊ぶことが好きです。」

保6「学校は、放課や体育の授業、行事等を通して体力づくりに努めている」

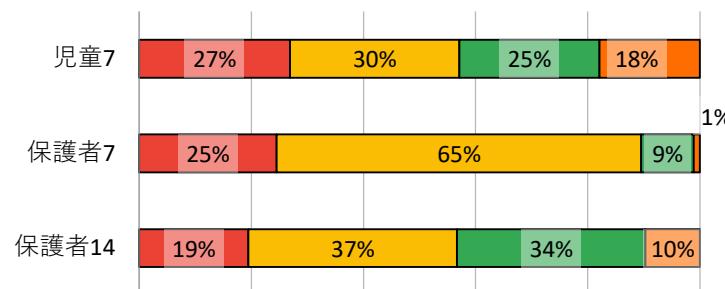


【読書への取組】

児7「わたしは読書をしている」

保7「学校は、読書を推進し、子どもの心を豊かにする活動に努めている」

保14「子どもは読書に取り組んでいる」



※発言やスピーチをしたり、友達の話を聞いたりすることが「とても楽しい、楽しい」という回答が9ポイント増加しました。子どもたちが自分の意見を発表したり、伝え合ったりする力を高めるために、さらに工夫を重ねていきます。

※運動場で「遊ぶことが好きだ」という回答が64%です。外で遊ぶができる日は多くの児童が外遊びをしています。遊びやすい環境を整え、児童の「遊びたい」という気持ちを大切にしています。

※学校では、朝の読書タイムやきりんの会による読み聞かせや市図書館による巡回文庫の活用など、本に親しむ時間を設けています。今後も読書指導を充実していきます。

【南吉学習への取組】

児10「わたしは岩滑の地を活用した南吉学習に楽しく取り組んでいる」

保10「学校は岩滑の地域を活用した南吉学習に意欲的に取り組んでいる」

【あいさつ・返事・言葉遣いの指導】

児9「わたしは学校や地域であいさつを進んでしている」



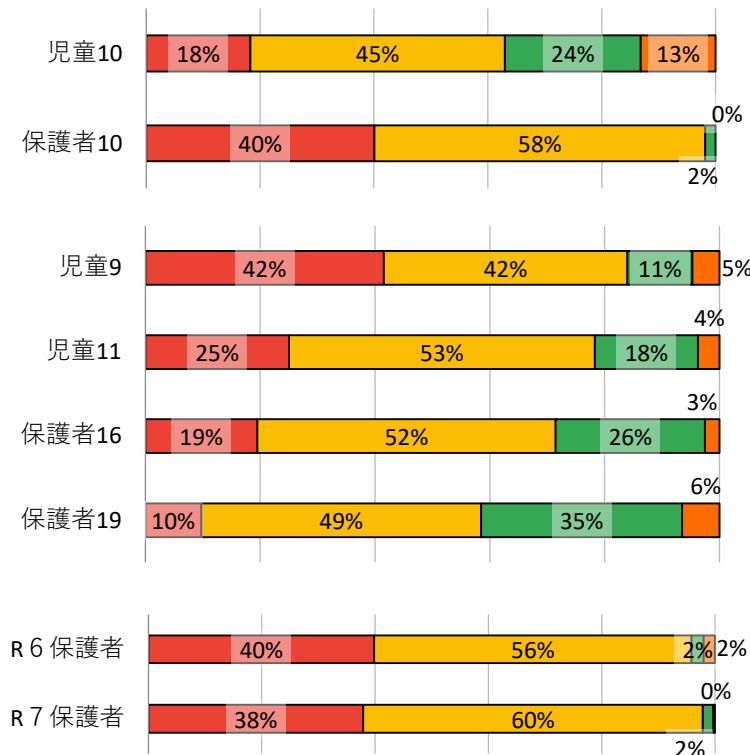
児11「わたしは返事や言葉づかいをきちんとしている」

保16「子どもは気持ちのよいあいさつをしている」

保19「子どもは返事や言葉遣い・後片づけがきちんとできている」

【たよりやHP等の情報発信】

保12「学校のたより（『やかちの風』や学年だより）やホームページは、子どもの様子や学校の取り組みを適切に情報発信している」



※新美南吉の故郷として、他の地域ではできない地域に根ざした南吉学習を展開しており、保護者の皆様にも十分ご理解していただいており感謝いたします。子どもたちの南吉学習に取り組む姿勢も向上していることが数値からもうかがえます。

※児童会や生活委員会が朝のあいさつ運動に進んで取り組んでいます。子どもたちなりにできていると思っていても、まだまだ不十分なところがあることが分かります。学校生活でできていることが、家庭や地域の場でも発揮できるように取り組んでいきたいです。

【児童の生活】

児14「わたしは朝食を毎朝きちんと食べています」

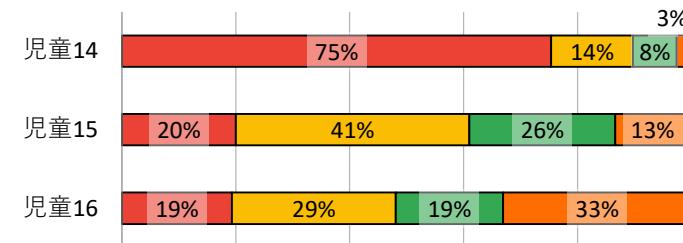
児15「わたしの寝る時間です」

A : ~9時 B : 9~10時 C : 10~11時 D : 11時~

児16「わたしの下校後にテレビ・ビデオを見たり、ゲーム（インターネット）をやったりする時間です」

A : ~1時間 B : 1時間~2時間

C : 2時間~3時間 D : 3時間~



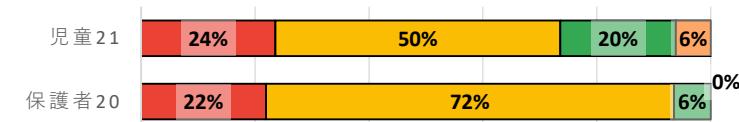
※9割の児童が「きちんと食べてきている」と回答しました。朝食の大切さについて、今後も継続的に伝えていきたいと思います。

※夜、11時以降に寝ている児童の割合が3ポイント増加しました。一方で9時までに就寝する児童の割合は1ポイント増加しています。家庭での過ごし方について考えていく必要があると感じます。

【その他】

児21「わたしは、学校公開日や学校生活を送る中で「幸せ」について考えることができます。」

保20「子どもは、幸せを感じている」



※9月の幸せ公開日にはたくさんの保護者の方に御来校いただきました。子供たちと保護者の方々のたくさんの笑顔にあふれた素敵な一日になりました。子どもたちも幸せについて考えるよい機会となっています。

児22「わたしは、岩滑小学校が好きです」

保21「岩滑小学校は、よい学校だと思う」



※児童の「そう思う(A+B)」の割合が昨年度より増加しています(R6児童:78%)。すべての児童や保護者にとって「通いたい、通わせたい学校」となることを目指していきます。

☆アンケートでは、温かい励ましや感謝のお言葉をたくさんいただきました。一部をご紹介させていただきます。

- ・交通指導などボランティアでの保護者参加ができ、学校の雰囲気が分かる機会がありよいと感じます。
- ・先生が親しみやすく、声をかけてくださるので、友だちと上手くいかない時も、先生がよりどころとなって、安心して過ごせていると思う。

★一方で、次のようなご意見やご指摘もいただきました。現状での対応をお知らせします。

- ・授業参観に参加しましたが普段の授業の様子、子どもの取り組みを見たかったと思いました。授業に特別感があり、親子で取り組みができることはいいと思いましたが、親が不在の子は取り組みが難しかったり、寂しい思いをしてしまうのではないかと感じました。学校に慣れているか心配だからこそ普段の授業で開放していただけるといいのかなと思いました。→「幸せ公開日は保護者参加型」、「その他公開日はふだんの授業」という方向性で検討していきます。
- ・登下校で歩いている黄色い帽子の子たちが車が来てるのに前を行ったり来たりする。傘を車の方に伸ばしたり危ない。→自分の命を守ることは、学校で指導する重点項目のひとつです。家庭・地域と協力しながら、機会あるごとに指導を継続していきます。